

化学物質等安全データシート

非晶質シリカビーズ

改訂日 2015 年 9 月 10 日

1. 化学物質等の名称及び会社情報

製品の名称	NucleoTraP [®] CR
該当コンポーネントの名称	NucleoTraP [®] CR Suspension
会社名	タカラバイオ株式会社
住所	〒525-0058 滋賀県草津市野路東七丁目 4 番 38 号
担当部署	タカラバイオテクニカルサポートライン
電話番号	077-565-6999
FAX 番号	077-565-6995
製品コード(容量)	740587.10 (100 µl)、740587 (1,000 µl)
TaKaRa Code	U0587S、U0587A

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性	現時点において GHS 分類できない。
健康に対する有害性	現時点において GHS 分類できない。
環境に対する有害性	現時点において GHS 分類できない。
危険有害性情報：	情報が得られない。
注意書き：	【安全対策】 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。使用前に取扱説明書を入手すること。保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。取扱い後はよく手を洗うこと。 【応急措置】 眼に入った場合：眼をこすらずに水で数分間、注意深く洗い流すこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。皮膚に付着した場合：振るい落して多量の水と石鹸で洗うこと。吸入した場合：うがいをし、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。衣類にかかった場合：振るい落とすこと。取り除くこと。吸入ばく露又はその懸念がある場合は、医師の診断、手当てを受けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 【保管】 容器を密閉して涼しく換気の良いところで保管すること。 【廃棄】 内容物や容器を、法令にしたがって自ら廃棄するか、都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区別	混合物（シリカゲル多孔質樹脂ビーズ懸濁液）
化学名又は一般名	非晶質シリカ（amorphous silicon dioxide）、二酸化珪素（Silicon dioxide）
別名	シリカゲル
CAS No.	7631-86-9
濃度または含有率	25%
化学特性（化学式又は構造式）	分子式：O ₂ Si 示性式：SiO ₂
官報公示整理番号（化審法・安衛法）	化審法： 、安衛法：

4. 応急措置

吸入した場合：	新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師を呼ぶこと。
皮膚に付着した場合：	皮膚を速やかに洗浄すること。皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを求めること。
目に入った場合：	水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：	速やかに口をすすぎ、医師の診断を受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状：	情報なし。
最も重要な徴候及び症状：	情報なし。
応急措置をする者の保護：	情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤：	周辺火災状況に応じて適切な消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤：	情報なし。
特有の危険有害性：	情報なし。シリカ自体は可燃性ではない。
特有の消火方法：	情報なし。シリカ自体は可燃性ではない。
消火を行う者の保護：	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：	作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、吸入と眼、皮膚への接触を避ける。風上に留まる。密閉された場所に入る前に換気する。
回収、中和：	情報なし。
封じ込め及び浄化の方法・機材：	情報なし。
二次災害の防止策：	粉末吸入を防止すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全な取扱い注意事項：

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。使用前に取扱説明書を入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。接触、吸入又は飲み込んではいけない。眼に入れたてはならない。粉末を吸入しないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

接触回避： 「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

技術的対策： 保管場所には換気の設備を設ける。

保管条件： 容器を密閉して保管すること。直射日光や火気を避けること。

混触危険物質： 「10. 安定性及び反応性」を参照。

容器包装材料： 製品容器を使用し、移し替えをしないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度： 情報なし

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）： 日本産業衛生学会（2005年版） 情報なし
ACGIH（2005年版） 情報なし

設備対策： 情報なし

保護具

呼吸器の保護具： 適切な呼吸器保護具を着用すること。鼻、口を覆うマスク着用。

手の保護具： 適切な手袋を着用すること。ラボグローブ着用。

眼の保護具： 適切な眼の保護具を着用すること。保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具： 適切な顔面用の保護具を着用すること。体を覆う衣服以外に予防措置は必要ない。

衛生対策： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観（物理的状态、形状、色など）： 無色液体

pH：データなし

沸点、初留点と沸騰範囲：1600℃（沸点）

爆発範囲：下限 データなし 上限 データなし

蒸気密度（空気=1）：データなし

溶解度：データなし

燃発火温度：データなし

臭いのしきい（閾）値：データなし

燃焼性（固体、ガス）：該当しない

臭い：無臭

融点・凝固点：データなし

引火点：データなし

蒸気圧：データなし

比重（密度）：データなし

オクタノール／水分分配係数：データなし

分解温度：データなし

蒸発速度（酢酸ブチル =1）：データなし

粘度：データなし

10. 安定性及び反応性

安定性： 情報なし

危険有害反応可能性： シリカ自体は燃焼性はない。

避けるべき条件： 湿気

混触危険物質： 情報なし

危険有害な分解生成物： 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性： 経口 ラットLD₅₀ >> 2000mg/Kg

経皮 データなし

吸入（蒸気） データなし

吸入（ミスト） データなし

皮膚腐食性・刺激性： データなし

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：データなし

呼吸器感受性： データなし

皮膚感受性： データなし

生殖細胞変異原性： データなし

発がん性： データなし（IARCの分類では、非晶質シリカはグループ3に分類され、人に対する発がん性については分類できないとされている。

生殖毒性： データなし

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：データなし

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：データなし

吸引性呼吸器有害性： データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性： データなし

水生環境慢性有害性： データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装： 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 IMO の規定に従う。

UN No. : not applicable

Class : not applicable

Marine Pollutant : not applicable

Proper Shipping Name : not applicable

Packing Group : not applicable

航空規制情報 ICAO/IATA の規定に従う。

UN No. : not applicable

Class : not applicable

Proper Shipping Name : not applicable

Packing Group : not applicable

国内規制

陸上規制情報 消防法に従う。

海上規制情報 船舶安全法に従う。

国連番号 : 該当なし

クラス : 該当なし

海洋汚染物質 : 非該当

品名 :

容器等級 : 該当なし

航空規制情報 航空法に従う。

国連番号 : 該当なし

クラス : 該当なし

品名 :

容器等級 : 該当なし

15. 適用法令

毒物および劇物取締法 : 該当せず

労働安全衛生法 : 名称を通知すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 2、令第 18 条の 2 別表第 9)

化管法 (PRTR 法) : 該当せず

消防法 : 危険物に該当せず

麻薬及び向精神薬取締法 : 該当せず

航空法 : 該当せず

船舶安全法 : 該当せず

16. その他

引用文献等

1. 改定第 2 版 労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社 (2007)
2. 化学品かんたん法規制チェック「ezCRIC」日本ケミカルデータベース株式会社 Web 版
3. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) GHS 分類結果データベース
4. 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センターGHS モデル MSDS 情報

* 当社の販売する試薬は試験研究用途に限定しております。

* 製品を取扱う前に取扱説明書をよく読んで、専門知識のある技術者、研究者が取り扱い下さい。

* 危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願いします。

* 記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。

* 注意事項等については通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いについては、この点のご配慮をお願いします。